

フェンタニル、ミダゾラムを鎮静剤として使用した気管支鏡検査の 肺癌診断率に関する診療情報を研究に利用することの

お知らせ

フェンタニル、ミダゾラムを鎮静剤として使用した気管支鏡検査の肺癌診断における有用性を明らかにするための後ろ向き観察研究について

1) 研究の概要

岡山医療センターで行われたフェンタニル、ミダゾラムを鎮静剤として使用した気管支鏡検査において肺病変を持つ肺癌疑いの患者さまに対する有用性を検討し、処置後の合併症なども併せて解析することで今後の診療の参考にします。

2) 病院名及び研究責任者の氏名

【実施医療機関の研究責任者の連絡先】

国立病院機構岡山医療センター

〒701-1192

岡山市北区田益1711-1

TEL：086-294-9911

研究責任者：呼吸器内科 職名 常勤医師 氏名 南 大輔

研究分担者：呼吸器内科 職名 部長 米井 敏郎

呼吸器内科 職名 医長 柴山 卓夫

呼吸器内科 職名 医長 藤原 慶一

呼吸器内科 職名 常勤医師 佐藤 賢

【研究代表者（臨床研究全体の責任者）】

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

〒700-1192

岡山市北区田益1711-1

TEL：086-294-9911

研究責任者：呼吸器内科 職名 常勤医師 氏名 南 大輔

3) 研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手・閲覧の方法

岡山医療センターで2015年11月1日から2016年12月31日までに気管支鏡処置が行われた患者様を対象とします。肺癌が疑われ、胸部X線検査、胸部CT検査を行った患者様を選択します。診断率、肺野病変のサイズ(長径)、病変の大きさ、病変の肺門からの距離、病変の位置、超音波による病変描出率、Air bronchus signの有無、病変の性状、到達可能気管支次数、検査時間、安全性(合併症)について解析を行います。上記を「データ」として過去のカルテ記載より抽出し、解析を行います。上記の資料は希望に応じて閲覧することができます。研究代表者までご連絡下さい。

【研究代表者（臨床研究全体の責任者、）】

独立行政法人国立病院機構 岡山医療センター

〒700-1192

岡山市北区田益1711-1

TEL：086-294-9911

研究責任者：呼吸器内科 職名 常勤医師 氏名 南 大輔

4) 個人情報の開示について研究対象者及びその関係者からの相談等への対応に関する情報

この研究で得られた結果は、あなたの個人情報（名前や住所、電話番号など）に係わる情報を切り離してから、データセンターに提出いたします。そして、他の病院から集められた結果とともにまとめられ、学会や医学雑誌などに発表されることもあります。ただし、いずれの場合にも、あなたの個人情報が公表されることは一切ありません。

この研究の関することについて、わからないことや、聞きたいこと、また何か心配なことがありましたら、いつでも遠慮なく研究担当医師におたずねください。

5) 試料・情報の利用を拒否できる旨

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることはありません。その場合は担当医にお申し出ください。